

4. 本時の目標

数の大きさを、もとの大きさを用いて、比べる見方で考えることができる。(数学的な考え方)

5. 本時の展開

子どもの意識の流れ	学習活動	教師の働きかけと評価(□)
<p>・長さを半分にしたら、$\frac{1}{2}$ということがわかったよ。$\frac{1}{4}$や$\frac{1}{8}$も作ることができたね。</p> <p>問題：どのはんの●の数が多くなるかな。</p> <p>・多さを比べるって、どういうことかな。 ・できるだけ多い数を引いたら勝ちだね。 ・分数は、何を引いたら有利なのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起する。 ・本時の学習課題を知る。 ・めあてを立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起する掲示物を教室にする。また、前時の学習を振り返る問いかけをする。 ・比べたくなる学習展開になるように、ゲーム形式を取り入れる。
<p>めあて(分数を使って)●の数の多さをくらべよう</p>	<p>カードを引いて、1枚目の数が、2枚目の分数のカードによって大きさが変わり、数が決まる。</p>	
<p>・幾つになったか、比べてみよう。 ・僕の班の方が、多いよ。 ・最初と比べて半分になったよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のおはじきの数と自分の●の数を比べる。 	
<p>・どうして、元の数が大きいのに、数が小さくなってしまったのだろう。 ・分数のカードの数の大きさは、2しか変わらないのにな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に比べてどのくらいの大きさになったかを分数を使って考える。 	<p>◎数の大きさを比べるときに、もとの大きさや友達との大きさなど複数の捉え方で比べ、表すことができる。</p>
<p>・元の大きさが変わると、分数の分割する数の大きさも変わる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比べ方を確かめるために、もう一度、カードを引いて●の数を比べる。 	<p>○数の大きさを比べるときに、分数で表すことができる。</p>
<p>班ごとに やってみよう。</p>		<p>△数を比べるときに、分数を用いた見方で考えることができない。</p>
<p>・最初は、何点差でしか比べられなかったけど、分数でも表すことができた。 ・最初の数が多くても、負けることがあった。 ・元の大きさによって、分数の大きさが変わるね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振りかえりをする。 	
<p>まとめ： 元の大きさが違うと、分数の1つ分の大きさも変わるんだな。 1枚目に大きい数を引いても、1枚目が小さい数より小さくなることもあるんだな。</p>		